

青梅防犯協会だより

2021.11.25

青梅防犯協会

TEL・FAX 0428(23)8505

今年も新型コロナウイルスの感染が収束しないまま、秋の「全国地域安全運動」の時期に突入しました。そのためイベントなどの集会は取りやめ、昨年と同様に防犯パトロールをメインとして、次の要領で実施いたしました。

実施に当たり関係者皆様の多大なご協力をいただき、計画の通り啓発・広報活動を終了することができました。

実 施 報 告

=== 10月11日～20日の「全国地域安全運動」期間中 ===

- ① **計画**：支会・自治会による地域ごとの防犯パトロール
 役員所有車両を借用し、防犯マグネットシートを付けて、日時を決め地域内をパトロールする（1台に2～4名乗車）

実施：10月9日から20日まで、青梅市自治会第1支会から11支会の方々が、2人から8人の参加で実施、参加人数 延べ 52人。

期間中、「**みんなでつくろう 安心の街**」のシートを付けた車両、延べ 18台に分乗し、受け持ちの地域内をパトロールしました。

なお、実施に当たり、参加者全員が全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」に加入しました。（特に事故等の報告なし）



高橋会長



第1支会



第2支会



第3支会



第4支会



第5支会



第 6 支会



第 7 支会



第 8 支会



第 9 支会



第 10 支会 (1)



第 10 支会 (2)



第 11 支会 (1)



第 11 支会 (2)



連合自治会三役

地域安全活動とは？

「政府広報オンライン」より抜粋

安全で安心して暮らせるまちにするために、地域で一体となって取り組む活動です

地域安全活動とは、安全で安心して暮らせるまちを実現するため、それぞれの地域において、地域ぐるみで、犯罪等の防止に取り組む活動をいいます。全国各地では、地域住民が中心となり、自治体、学校、警察、事業者等と連携しながら、自主的に地域安全活動に取り組んでいる団体（以下「防犯ボランティア団体」という。）が活躍しています。全国の防犯ボランティア団体は、4万6,002団体（構成員は247万7,546人）に上っています（令和2年12月末時点、警察庁）。

防犯ボランティア団体のメンバーは、その地域に長く住んでいる方が多いのですが、地域によっては、学生などの若い人たちや、企業などで日中働いている人たちが参加している事例もあります。防犯ボランティア団体の活動は、活動地域の自治体、学校、警察などと連携しながら、地域環境や、地域で多く発生している犯罪などそれぞれの実情に合わせた様々な活動が行われています。

② 計画：自治会以外の協会役員による、「青パト」を利用した防犯パトロール
10日間の期間中、2人から4人のグループで青パト(青色回転灯付き防犯パトロール車)
に乗り、市内をパトロールする

実施：振り込め詐欺など特殊詐欺防止の啓発テープを活用し市内を巡回。

参加人数 延べ 33 人。(うち女性部員 17 名)



安全運動初日 出発式 会長・第1支部



第4支部



第6, 7, 8, 10支部



第9支部



本部役員 (1)



本部役員 (2)



本部役員 (3)



本部役員 (4)

全国地域安全運動／安全安心なまちづくりの日

警察、地域住民、行政、事業者などが連携して安全安心な地域社会を築くため、全国で取組を強化

警察などでは、毎年10月11日～20日までの10日間、「全国地域安全運動」を実施し、各地の防犯協会や防犯ボランティア団体とともに、地域安全活動の強化や、相互間の連携の一層の緊密化を図っています。この運動は、昭和52年に「全国防犯運動」として始まり、平成7年に現在の「全国地域安全運動」に名称を変更しています。また、平成17年には、各地域における取組意欲をさらに高めるため、10月11日を「安全安心なまちづくりの日」と定めています。

特殊詐欺の手口と対策

警察庁・sos47
特殊詐欺対策ページ より

被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、

指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、

不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪を特殊詐欺といいます。

オレオレ詐欺以外にも巧妙な手口が多様に存在しますので、手口の特徴をしっかり把握しておきましょう。



オレオレ詐欺

親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る(脅し取る)手口です。



預貯金詐欺

親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、「キャッシュカードの交換手続きが必要である」などの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る(脅し取る)手口です。



キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」などの名目により、キャッシュカードを準備させた上で、隙を見るなどし、キャッシュカード等を窃取する手口です。



還付金詐欺

税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る手口です。

特殊詐欺の手口と対策

こんな電話に注意しよう



特殊詐欺グループを捜査しているのですが、あなたのキャッシュカード(銀行口座)が不正に悪用されていることが分かりました。

え!困ります…。



大丈夫です。保護申請の手続きがありまして、そのためにキャッシュカードを確認したいので、ご自宅に伺ってもよろしいですか？

よろしくおねがいします。



この後すぐに、**ニセ警察官**、**ニセ銀行員**が自宅に来訪



手続きを行いますので、この封筒にキャッシュカードと暗証番号を書いたメモを入れてください。

はい、こちらです。



封筒に割印が必要ですので印鑑を持ってきてください。

少しお待ちください。



室内に印鑑を取りに戻るなど、目を離れた際に
ニセモノのカードが入った封筒と**本物のカード**が入った封筒を
すり替えられてしまいます

(続き)



割印ありがとうございます。手続完了の連絡がくるまで、封筒を開かず大事に保管してください。

これで、安心だわ…。

※偽物のカードが入った封筒を受け取ったと気付いていない。



これは警察官、銀行員を装ってキャッシュカードやクレジットカードをだまし取る手口の一例です



要注意ポイント

最後に「封筒を開かず保管して」と言われることで、すぐにはキャッシュカードのすり替えに気がつくことができず、その間に口座から現金が引き出されてしまう巧妙な手口です。

被害を防止するために…

警察官、銀行協会などの職員が暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを封筒に入れさせることは絶対にありません。

✓ 常に留守番電話機能を設定しておく

✓ 迷惑電話防止機器を利用する

✓ しっかりと覚えておき、おかしいな…と思ったら家族に相談してみましょう。

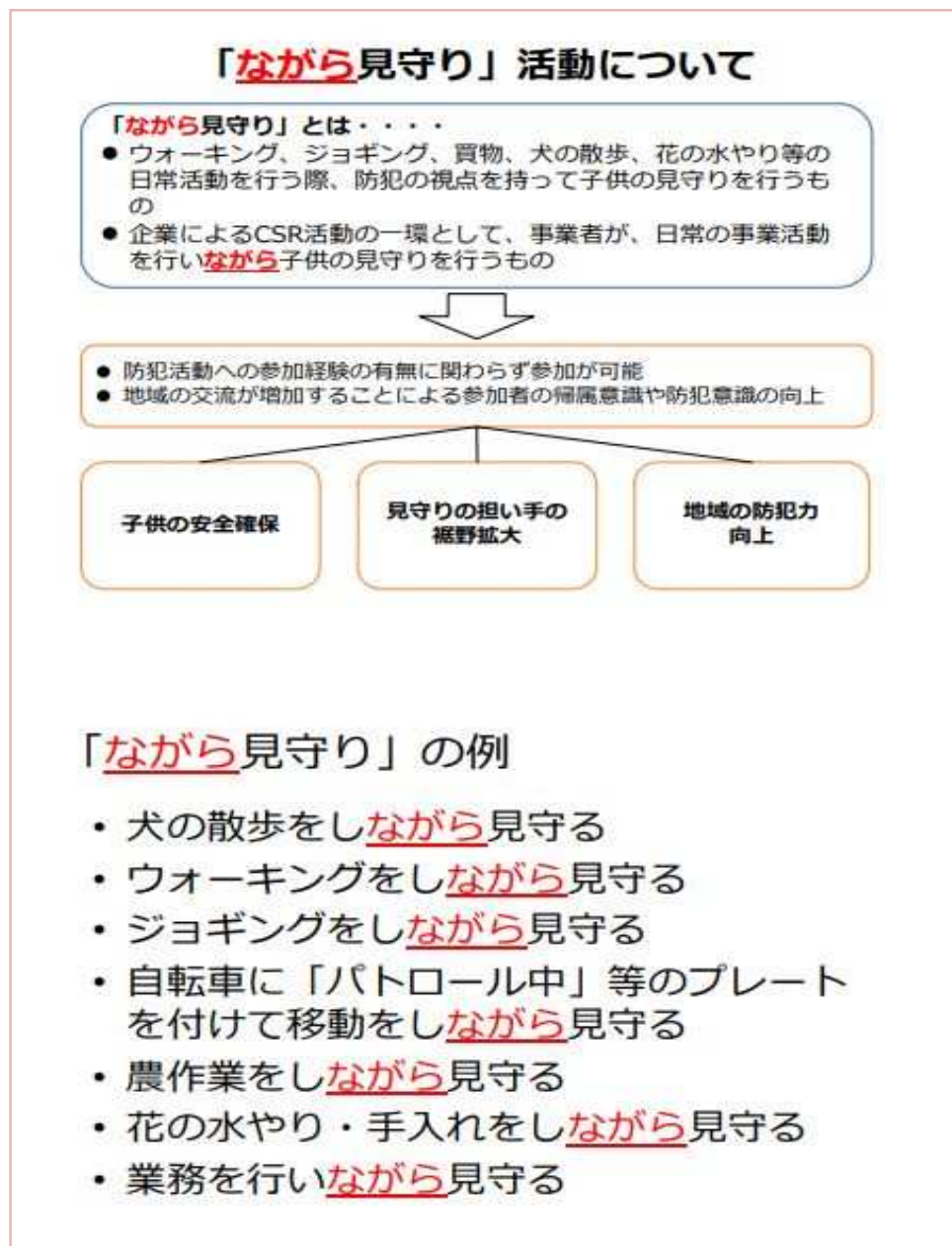
「ながら見守り」活動について

警察庁生活安全局生活安全企画課資料より

「登下校時における子供の見守り活動」 「ながら見守り活動」

政府は登下校時の子供の安全確保に関して、社会全体で子供の安全を守るための対策として「登下校防犯プラン」を策定しましたので、そのプランの一部を抜粋して紹介します。

このプランでは、従来の高齢者を中心とした見守り活動には限界が生じているため、見守りの担い手を増やすため、多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」の推進に取り組むこととしています。



青梅防犯協会では、青梅警察署、青梅市・奥多摩町、地域自治会などと連携して地域の防犯活動を実施していますが、「ながら見守り」に皆様のご協力をお願いします。

「ながら見守り」で不審なことを感じたら、110番か青梅警察署までご連絡ください。

<青梅防犯協会・防犯ボランティア団体の主な活動>



- 地域の防犯パトロール活動（徒歩による夜間の見回り、青パト（※）による見回りなど）
- 地域の環境浄化活動（落書き消し、清掃など）
- 防犯広報活動（防犯教室、街頭などでの防犯キャンペーン活動など）
- 子供の安全を守るための登下校時などの見守り活動
- 高齢者世帯への戸別訪問

※「青パト」とは、青色回転灯を装備する自動車を使い青色回転灯を点灯させて行う自主防犯パトロールカーのことです。「青色防犯パトカー」などとも言われています。

通常、自動車に青色回転灯を装備することは禁止されていますが、一定の要件を満たす団体・組織が防犯パトロールを実施する場合には、警察本部長の証明を受けて、自動車に青色回転灯を装備して防犯パトロール活動を行うことができます。



青パトを使った防犯パトロール活動は、夜間でも人目につきやすい、広い範囲をパトロールできるといったメリットがあります。

防犯パトロール活動に青パトを使いたいという場合は、青梅警察署・青梅防犯協会にご相談ください。

使用できる団体は、青梅防犯協会または自治会に所属し、防犯パトロールの講習会を受講して、実施者証の交付を受けた人を含む場合で、あらかじめ使用許可を受けてください。